

# 丸亀市離島地域を拠点とする島内外の人的交流を目的とした共創事業

超高齢化が進み人手不足が深刻化する中で、ボランティア人材を創出・確保するために、島内外の各ステークホルダーと連携しながら、「学生ボランティア受け入れ事業」を実施することにより、関係人口のサステナブルな増加を実現する。

## ＜さぬき広島地域における事業内容・イメージ＞

### 「島民と共に活動する学生ボランティア事業」

概要：日本遺産や砂浜等の島内資源が地域内の担い手不足により活用できていないため、島外からボランティア人材を募集する。募集方法としては、丸亀市社会福祉協議会が昨年度に立ち上げた「まるがめ高校生ボランティア部」やボランティア人材募集サイト「activo」に掲載し、地元の高校生や全国から大学生、大学院生を広く募集する。また、課題発見の方法としては連合自治会を中心に、島民に対して生活課題や地域課題等を聞き取り調査を実施し、ダイレクトに課題解決が出来るようにマッチングさせる。

主な活動内容としては、日本遺産・尾上邸の草刈りや納屋掃除等の整備、自治会の神社清掃やお祭り等の出参加、その他放置竹林整備や海岸清掃を実施する。また、香川県ビーチバレーボール連盟と連携したビーチバレー大会等のイベント開催、丸亀市地域づくり課離島振興室より情報提供を頂き、島内イベントのスタッフも担う。

そして、無理のない範囲で島民と共に活動することを目標として世代間交流を生み、「昔は島が賑やかだった。」「あと10、20年若かったら良かった。」といった声を現実的に叶えられるよう、島民の生きがいづくりに努める。

主な参加者：地元の高校生、全国の大学生、島民

### ＜実施イメージ＞

- ①連合自治会を中心に、島民に対して生活課題や地域課題等を聞き取り調査を実施。活動日や活動場所等の詳細を調整。
- ②まるがめ高校生ボランティア部やactivoに掲載し、広く学生ボランティア人材を募集する。
- ③県内外から学生を受け入れて、島民と共に活動を実施する。

### 想定している関係人口（「ターゲット層」・「事業内の役割」）

（課題）人口減少による過疎化と超高齢化による人手不足、地域内における若年層の負担増とそれに伴う地域活動の消滅  
 （関係人口対象）地元の高校生、全国の大学生・大学院生  
 （事業内の役割）高齢化が進み、身の回りの生活課題から自治会行事の深刻な人手不足等の地域課題を島外から来た学生ボランティアの力で解決する。また、可能な範囲で島民と共に活動することで普段出来ない世代間交流の機会を創出し、若者が持つパワーを活かして高齢者の生きがいづくりに寄与する。また、活動に参加した学生自身も地域貢献を実感でき、島民との関係性を構築することで再び訪れたいという気持ちが生まれて広島に深い関わりがある関係人口になる。  
 （参画方法）・日本遺産・尾上邸の草刈りや納屋掃除等の施設整備  
 ・放置竹林整備や海岸清掃、各自治会の行事等での島内資源整備  
 ・ビーチバレー大会等のイベントへの参画



## ＜事業成果 目標（単年度）＞

### ＜目標＞

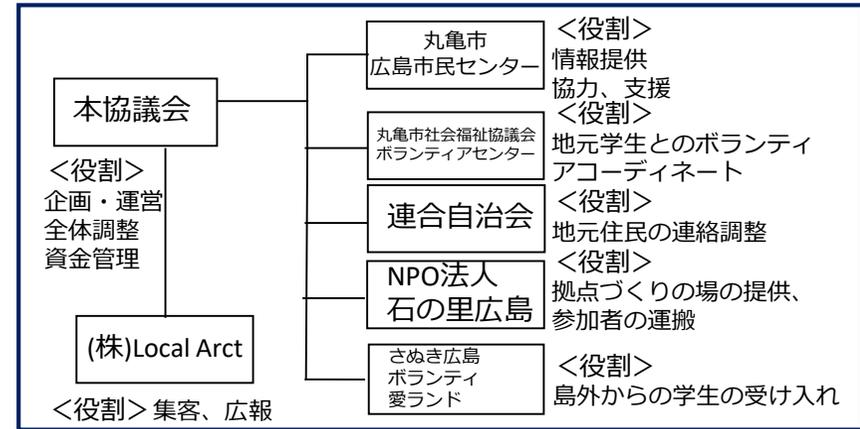
定量：年間150人の学生の受け入れ。

定性：参加者の地域活動に対する志向性の向上。

### ＜成果検証方法＞

活動を実施する度に、参加した学生や島民にアンケート調査を実施し人数や属性等の基本データを収集し、かつ自由記述等の設問から志向性を分析する。（テキストマイニング、ロジックツリー等を活用する。）

## ＜実施体制図＞



## ＜事業スケジュール＞

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	事前準備				中間報告				
		事業実施							
									成果報告

## ＜事業終了後の展望＞

### ①さぬき広島ファンクラブの設立

→全国各地の学生が在学中に関わらず、卒業後も広島を訪れるきっかけづくりをする。会費制にすることで、船賃や島内での移動にかかる交通費は本協議会が補助するなどして受け入れを継続していく。

### ②県内唯一の常設ビーチバレーボールコート

→夏に江の浦海水浴場で実施予定のビーチバレーボールイベントで実績をあげ、連携して開催する香川県ビーチバレーボール連盟にアピールすることで、県内唯一の常設ビーチバレーボールコートを誘致する。最終的には本地域での学生ボランティアという関係人口創出事業が、国内の農山漁村地域や島嶼部でのロールモデルとなり全国各地で展開されることを目標とする。島民同士の無理のない世代間交流から島民の生きがいが生み出されている。また同時に「あと10、20年若かったら良かった」といった意見を肯定的に話し合える環境が整備されている。